

## 広島県支部

### 「地域力連携拠点事業」のベストプラクティス診断事例

当支部が経済産業省中国経済産業局から受託している中小企業支援施策「地域力連携拠点事業」の専門家派遣による企業支援の実態を報告すると共に、平成 20 年度実施分の中から先進的支援事例 10 件を抽出し、経営課題の解決に向けた取り組みを詳細に調査研究する。

今年度の当支部のマスターセンター調査・研究事業は、①コンサルティング手法の水平展開による会員中小企業診断士の資質向上、②中小企業事業者・中小企業支援機関への中小企業診断協会のアピールと情報発信を主眼としている。

「はじめに」の項において、当支部が「地域力連携拠点」として活動することによる成果を総括している。

第 1 章においては、「平成 20 年度地域力連携拠点事業」の概要を説明する。当支部が行う事業の全体概要を紹介し、身近な経営改善・工場や店舗の現場改善やコストダウン・販売営業等経営戦略策定・事業再生への支援・農商工連携など幅広い経営課題テーマに対して、事業者が成果や結果を実感できるような専門家派遣の取り組みの実態が確認できる。

第 2 章においては、専門家派遣を実施した 55 件の事例の中から編集委員会において精査した具体的な 10 事例に関して、事業者に派遣された専門家が、実際に行った支援への取り組み過程を振り返り報告するというスタイルで編集した。十人十色のコンサルティングスタイルを展開している会員中小企業診断士の姿が実感できる。

以下、それぞれの事例の支援のポイントを紹介する。

#### < 診断事例 1 > 「理念の策定・共有化による組織変革」

理念の策定と明文化、理念に基づく経営の導入、トップダウンからボトムアップ型への組織改革を行い、プロジェクトチームによる顧客起点からの新製品開発の支援を行った

#### < 診断事例 2 > 「農商工連携による製品開発」

食品製造業の販路拡大と製品開発が派遣テーマ、3 社の連携によるヘルシーコロッケ製造販売事業が、平成 21 年 9 月、農商工連携計画の認定を得る

#### < 診断事例 3 > 「新商品和紙糸の売上拡大の支援」

和紙糸素材の特性を活かした商品開発の推進による売上の拡大

#### < 診断事例 4 > 「高級和食店の収益性改善」

財務面・マーケティング面・コスト面から収益性改善のための売上と利益率の向上の具体的な改善策を提案

<診断事例 5> 「従業員の自主的活動を重視した現場改善」

全員参加の改善活動の推進、価値作業とムダ作業の認識、ムダ作業排除を経て、工場レイアウト変更を提案

<診断事例 6> 「アパレルメーカーにおける過剰在庫削減方法」

当初は過剰在庫防止がテーマであったが、受注や手配など経営管理体制の確立を合わせて支援する

<診断事例 7> 「売上拡大・利益伸び悩みタイプの成長型企業の経営改善」

売上増加に対応できる工場体制の整備と全社的な利益アップへの取り組みへの支援

<診断事例 8> 「農事組合法人の経営改善」

利益面と資金面の悪化原因を究明し、改善策を提案して、改善策を盛り込んだ中期事業計画を立案する

<診断事例 9> 「従業員を巻き込んだ経営革新の推進支援」

付加価値つき提案型ドライバー派遣事業の計画を軌道に乗せるため、不足している意思疎通の充実と、社員教育とをリンクした社内評価システムの拡充を図る

<診断事例 10> 「社員のやる気に火がついた」

事業承継の準備と組織改革、販売先の確保、コストダウンのための現場改善